

佐賀県開催 <むつごろうラウンド>



H26.9.20(土) 佐賀大学 本庄キャンパス



報告が大変遅くなりました。まだまだ残暑の中、九州各県、遠くは広島県や岩手県の先生方に佐賀に集まっていたいただき、「むつごろうラウンド」を開催することができました。土曜日の13:30スタートでしたので、佐賀県内の先生方にも多数参加いただき、計30佐藤先生の話の聞いたり、研究・実践報告の後、ディスカッションをしたりと、授業づくりについて語り合うことができました。

1 体育科教育最前線



佐藤先生より国内外の体育化教育最前線についてミニ講座を開いてもらいました。特に「『体育の計画』を建てる能力の育成を促すづくり運動アプリの開発 タブレットの効果的な活用の検討」において、現在研究されている全体像や、タブレット画面を用いた研究内容の説明、そしてタブレットの有効性と課題について話をいただきました。

今後、学校現場にますますICT機器が入ってくることが十分予想されます。佐賀では、その予感大です。しかし、道具に振り回されてはいけません。今後とも、実践を通して体育学習の中で効果的な活用を探っていきたいものです。

2 学力向上と体育

研究報告では、伊万里市立伊万里中学校福井先生に、勤務校での取組について話をいただきました。「自尊感情を育てる」ことにスポットを当て、保健体育の保健分野での実践でした。

福井先生独特の語り口調から発せられるその言葉に、ついつい引き込まれながら耳を傾け聞いている自分がいました。

小・中・高・大とそれぞれ校種は違えど、目指すゴールは同じ。詳細については資料がありますので、そちらでどうぞご覧になってください。



3 佐賀の先生の実践報告

お二人の先生に実践報告をしていただきました。

まずは、武雄市立武雄北中学校松本先生。と言いたいところなのですが、残念ながら本人様が所用で欠席だったため、県指導主事の小松先生が代わりに、「言語活動の充実を図る武道（剣道）の指導内容の在り方」について報告をしました。私はやったことがないので分かりかねますが、他の方の実践報告って本当に難しそうでした。お疲れさまでした。

次に、神崎市立神崎小学校の高柳先生に、「ICTを利活用した体育授業の実践」について、高学年の跳び箱運動の実践を報告していただきました。タブレットや電子黒板、遅延再生ソフトと、舌がもつれるような言葉の機器を、「何を」「いつ」「どのように」利活用することが、意欲、技能、思考・判断に効果的に作用するのかわデータをもとに説明していただきました。

それぞれにどのような効果があるのかについてはもちろんですが、1人1台のタブレットPCの使用の利点や、使用する際の注意点は興味深いものでした。



4 情報交換会

私が一番楽しかったのは、この情報交換会。もちろんお酒付きです。ある場所では情報を共有し、またある場所では体育の授業について熱い語り合い、また他の場所ではお酒についてのトーク等、みなさんが楽しいひとときを過ごしていたのではないのでしょうか。

こういふとき、人との「つながり」を考えます。この会を佐賀の先生にもっと広め、体育・保健体育の授業の充実を図りたいものです。

最後になりますが、御参加いただきました先生方、本当にありがとうございました。

(報告：西村)